

喜友名 歴史文化遺産マップ

ちゅんなー

※私有地にある場合もあるので見学の際は注意しましょう

メーターヤマ前のシーサー



喜友名泉と集落を結ぶ坂道の「ウイユクイビラ」という場所にあったそうです。胴体と思われる部分が公民館敷地内にあります。

ナカムトゥ前のシーサー



1960年代には仲元家後方のガジュマルの木の中にあっただけです。顔の表情もはっきりと残っています。

ヒージャーグーフー



グーフーとは方言で「高まり」とか「たんこぶ」という意味です。明治の土地改正の頃に新たな「反し」として建てられたそうです。

⑤印部石



印部石は「ハル石」とも呼ばれ、1737～50年の乾隆(元文)検地の際、測量の図根点として設置されました。「ワ たけたう原」と彫られている印部石と周囲の土手が移動されずに残っており、市指定史跡になっています。

メントー前のシーサー



集落西側外れにあり、宜野湾方面を向いています。

メーマシチ前のシーサー



元は神山への反し(ケーシ)としてあったのがメーマシチの庭に移動したそうです。

クラニーグーフー前のシーサー



駐車場敷地内にあります。大通りからみると突き当りに置かれています。

①喜友名グスク



キャンプ瑞慶覧内にある集落の拝所。石積なども残っているそうです。

喜友名グスク周辺からは東シナ海が一望できます



②フトッキアブ



キャンプ瑞慶覧内にある洞穴の拝所。戦時中は避難壕になっていました。

③ウフブタ



シオン幼稚園敷地内に残る大岩でシーミー(清明祭)の際に拝む人がいたそうです。

④東島袋家の庭園



東島袋家の敷地内には琉球王国時代からの庭園が残されています。

喜友名泉から急勾配の坂道を上るのは大変で、水汲みは重労働でした。



トゥクイリグーフー前のシーサー



横幅1m、高さ80cm以上の大きなシーサーで、表情や足、尻尾まではっきり残っています。

ちゅんにゃー



イリーグーフー前のシーサー



集落の東側外れにあり、新城方面を向いています。

喜友名七泉



喜友名泉のほかに、アカンナー、ヒージャーガー、ミーガー、バシガー、ヤマガーなどの湧泉があり、まとめて喜友名七泉(ナナカー)と呼ばれています。現在はすべてキャンプ瑞慶覧内にあります。

喜友名泉(チュンナーガー)

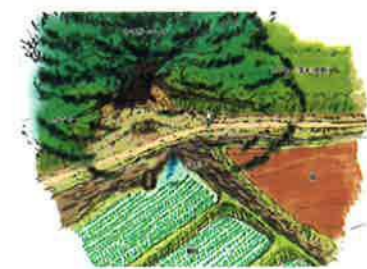


キャンプ瑞慶覧内にあり、国指定有形文化財に指定されている湧泉です。優れた石造技術が垣間見えます。ウフガー(イキガガー)とカーグーフー(イナグーフー)に分かれています。喜友名泉に行くには急勾配の石畳道があります。



アカンナー

集落北側にあるイキガガー・イナグーフーの下流にあったカー(泉)です。深さは膝くらいで、水遊びしたそうです。



ヤマガー

集落北から新城方面に向けてあった湧水。鯉の養殖場があったそうです。ヤマガーマーチ(リュウキュウマツ)がありました。



ミーガーとヒージャーガー

集落北から新城方面に向けてあった湧水です。ミーガーマーチ(リュウキュウマツ)がありました。



バシガー

集落北から新城方面に向けてあった湧水。喜友名グスクに關係するウナダルヌメ(位の高い女性)が水浴びしたと伝えられています。鯉の養殖場があったそうです。

※アカンナーにかわってグスクヌカーを七泉の湧泉とする話もあります。